

社協・ライフドアコラボ企画 「認知症啓発グッズを作ろう」実施報告

目的： 認知症啓発グッズの作成を通して、認知症への理解を深めるとともに、参加者同士の交流やつながりを深める機会とする。

日時： 8月4日(火) 10:00～12:00

場所： 検診センター

参加者： 30名 (内訳)サマーチャレンジ学生ボランティア 1名

認知症サポーター10名

認知症カフェ“えがお”の参加者・地域の方 11名

スタッフ(社協2名、包括2名、ライフドアすわ3名、疾患センター8名) 8名



＜実施内容＞

- ・認知症サポーター養成講座を実施し、認知症への理解を深めた。
- ・「安心して認知症になれる地域って、どんな地域？」をテーマにメッセージを記入。認知症を自分ごととして捉え、考えていただく機会とした。
- ・認知症啓発グッズ(テーブルポップ、吊り飾り)を作成した。

＜参加者の声＞

- ・「話しながら作業するのが楽しかった」「久しぶりによく笑った」「またこういう機会があるとうれしい」といった感想が聞かれた。
- ・ボランティアの学生からは、「地域の役にたてる」「楽しい、やりがいがある」との感想があった。(体験カードより抜粋)
- ・「安心して認知症になれる地域って、どんな地域？」をテーマに記入いただいたメッセージには、「やりたいことをやらせてもらえる、やってきたことをやれる環境がほしい」「いつまでも私でいたい」「普通に接してほしい」「気軽に声をかけたい」などの思いが寄せられ、認知症への理解や地域で支え合う意識の深まりがうかがえた。

＜まとめ＞

- ・今回、認知症疾患医療センターとの連携により、地域の方への参加の呼びかけが広がり、多くの地域の方に参加いただくことができた。
- ・学生、認知症のある方、認知症サポーター、地域住民が同じテーブルを囲み、ともに作業することで自然な会話が生まれ、立場や世代を超えて互いを知り、理解を深めることができた。グッズ作りを通じて、認知症への理解を広げるだけでなく、認知症のある人もない人も自然に交流できる場の大切さを再認識した。今後も、このような交流の機会を継続し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりにつなげていきたい。

※作成した啓発グッズは、9月の認知症月間にあわせ、市内医療機関、薬局、認知症サポーター養成講座の受講団体等、約140カ所に配付予定である。